

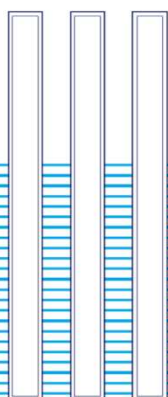
FULL HEIGHT DOOR®

フルハイトドア®

施工手順書

ウォールスルー

ウォールスルー

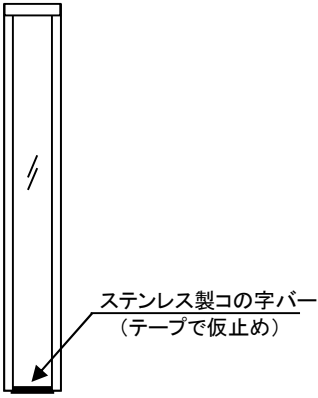


□ウォールスルー

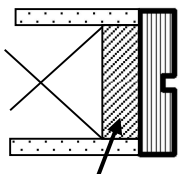
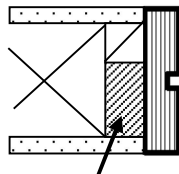
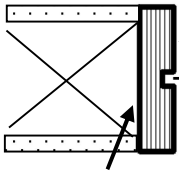
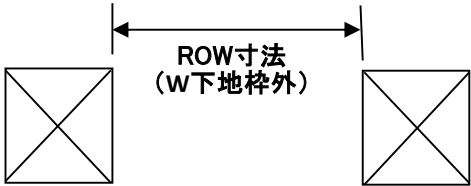
改訂:2025/1

■製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

造作材			同梱部品			
部材	数量	備考				
ウォールスルー	1セット	ガラスは組込み済み ※ガラス下部のステンレス製コの字バーはテープで仮止め				
 <p>ステンレス製コの字バー (テープで仮止め)</p>						
※ガラスの交換はできません。						

1 施工前の確認事項

<p>① ウォールスルーを設置する前に、開口部の巾(図面:ROW寸法)と、高さ(図面:床仕上～開口高さ)、及び床仕上げの厚みを確認してください。</p> <p>※ウォールスルーの設置は、ガラス下部のコの字バーが床仕上げ面より下に納まりますので床仕上げ材(フローリング)の施工前に行ってください。</p>	 <p>隙間がある</p>	 <p>隙間がある</p>	 <p>隙間なく固定</p>	
	×	×	○	
	 <p>ROW寸法 (W下地枠外)</p>			
	開口の確認			
<p>注意</p> <p>※ウォールスルーは躯体と面接合するように取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。</p> <p>※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。</p> <p>※ウォールスルーのガラスは交換できません。</p>				

2 ウォールスルーの設置・固定方法

<p>① ウォールスルーの設置前にガラス下部のコの字バーを保護している木材を取り外します。</p> <p>※ウォールスルーの設置は床仕上げ材(フローリング)の施工前に行ってください。</p>			 <p>縦枠下端 = 床仕上げ面</p>	<p>※ガラス下部のコの字バーは縦枠より出っ張ってますので取扱いに注意してください。</p> <p>※ガラス下部のコの字バーは床仕上げ面より下に納まる</p>
<p>② ウォールスルーの設置前に縦枠の下に床仕上げ材と同じ厚みのパッキン材(現場手配品)を仮置きし、ウォールスルーを載せ、酢ビ系接着剤併用にて取り付けビス(現場手配品)で躯体に固定してください。(下穴が開いていませんので、必ず下穴をあけてから取り付けてください)</p>	 <p>下地裏面に接着剤全面塗布</p>	 <p>←パッキン(仮置き) ※床仕上げ材と同厚</p>		 <p>ビス固定の方法</p>
<p>注意</p> <p>※ウォールスルーの設置は床仕上げ材(フローリング)の施工前に行ってください。</p> <p>※縦枠の下端が床仕上げ面となります(後から施工する床仕上げ材が差し込めるようにしてください)。</p> <p>※ウォールスルーを設置する際、パッキン材(仮置き)の上にガラス下部のコの字バーが載らないようにしてください(コの字バーが床仕上げ面より下に納まります)。</p> <p>※ウォールスルーの取り付けビスはガラスをまたいで2列、300mmピッチ程度で固定してください。</p> <p>※ウォールスルーの取り付けの際はガラス下部のコの字バーを仮止めしているテープは剥がさないでください。</p>				

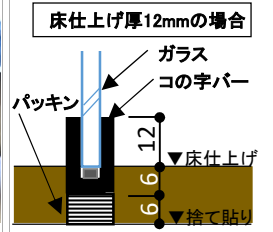
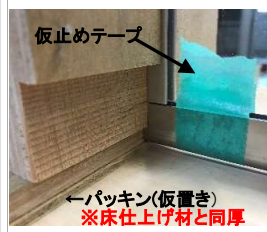
ウォールスルー

ウォールスルー

施工手順書2025/1更新

3 ガラス下部のコの字バーを固定し、床仕上げ材を取付ける

① ウォールスルーの固定後、縦枠の下に仮置きしたパッキン材を取り外します。
次にコの字バーが下にズレ落ちないようにパッキン材を3箇所(両端と中央)、コの字バーの下にしっかり入れてください。



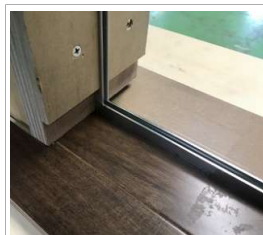
縦枠下端に仮置きしたパッキン材を抜く

コの字バーの下にパッキン材を入れ仮止めテープを剥す

コの字バーの側面からパッキン材がはみ出さないよう切る

下記「注意」参照

② コの字バーを挟み込むように床仕上げ材を取り付けます。

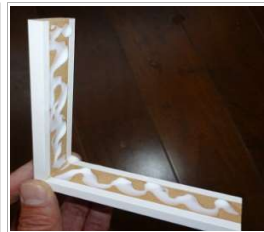


コの字バーを挟み込むように床仕上げ材を取付ける

注意
※コの字バーは床の捨て貼り面から浮いて設置されますので下にズレ落ちないようにパッキン材をしっかり入れてください。
※コの字バーの下に挿入するパッキン材の厚みは床仕上げ材(フローリング)の厚みにより異なります。
参考；床仕上げ厚12mmの場合：パッキンの厚み3mm、床仕上げ厚15mmの場合：6mm
但し、床捨て貼り面の不陸が大きい場合は現場にてパッキンの厚みを調整してください。

4 巾木・クロス施工

① 巾木に接着剤を塗布し、縦枠下端の巾木切欠き加工部と壁面にまわして取り付けてください。
(接着剤は酢ビ系をお勧めします)

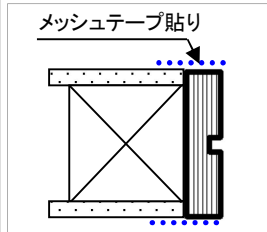


接着剤全面塗布

縦枠下端の巾木切欠き加工部 深さ7mm(クロスの場合)

シンプル巾木の取り付け

② 石膏ボードと枠をまたぐようにメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理をした後でクロスを貼ってください。(メッシュ+下塗り+上塗りを推奨)
クロスは、ガラス押え部分(アルミ調見切材)で見切ってください。(ガラス押えの出寸法 3mm)




メッシュテープ

ビス部分にもパテ処理

注意
※縦枠下端の巾木切欠き加工寸法は別途当社で販売しているシンプル巾木用の寸法となります(クロス仕様の場合：高さ30mm×深さ7mm)。
※縦枠下端の巾木切欠き加工を無しにできます。ご注文の際に別途ご指定ください。

5 巾木・塗り壁施工

<p>① 巾木に接着剤を塗布し、縦枠下端の巾木切欠き加工部と壁面にまわして取り付けてください。 (接着剤は酢ビ系をお勧めします)</p>		 <p>←巾木の切欠き加工</p>		
<p>② ガラス・コの字バー・巾木に養生を行い、石膏ボードと枠をまたぐようにメッシュテープを貼り、パテ処理(2度塗りを推奨)をしてください。パテが乾燥後、下塗り材(アク止め入り)をムラなく塗り、1～2日乾燥させてください。その後、仕上げ材をムラなく塗り、3～4日乾燥させてください。</p>	 <p>メッシュテープ貼り</p>			
<p>注意</p> <p>※縦枠下端の巾木切欠き加工寸法は別途当社で販売しているシンプル巾木用の寸法となります(塗り壁仕様の場合：高さ30mm×深さ4mm)。 ※縦枠下端の巾木切欠き加工を無しにできます。ご注文の際に別途ご指定ください。 ※塗り壁は、ガラス押え部分(アルミ調見切材)で見切ってください。但し、ガラス押えの出寸法が3mmのため塗り厚は3mm以下としてください。 ※漆喰の場合、アク止めは1回塗った後に十分乾燥させ、さらにもう1回塗って、1～2日乾燥させた後に上塗りを行ってください。</p>	<p>接着剤全面塗布</p>	<p>縦枠下端の巾木切欠き加工部 深さ4mm(塗り壁の場合)</p>	<p>シンプル巾木の取り付け</p>	